



# XPress Tags 8 ガイド

## 目次

<b>法律上の注記</b> .....	<b>4</b>
<b>XPress Tags の理解</b> .....	<b>5</b>
タグ付きテキストの取り込み .....	5
他のソフトウェアを使ったタグ付きテキストの作成 .....	5
XPress タグに関する一般情報 .....	5
<b>文字設定と段落設定</b> .....	<b>8</b>
<b>文字属性</b> .....	<b>8</b>
言語 .....	9
ルビ文字 .....	10
グループ文字 .....	10
フォントセット .....	11
OPENTYPE の属性 .....	11
<b>段落属性</b> .....	<b>13</b>
<b>その他の属性</b> .....	<b>14</b>
<b>その他の属性</b> .....	<b>14</b>
<b>設定をスタイルシートへ戻す</b> .....	<b>14</b>
<b>スタイルシート</b> .....	<b>16</b>
<b>スタイルシートの定義</b> .....	<b>16</b>
<b>スタイルシートの適用</b> .....	<b>16</b>
段落スタイルシートの適用 .....	16
文字スタイルシートの適用 .....	17
<b>スタイルシートに関する追加 XPress タグ</b> .....	<b>17</b>
<b>カラー</b> .....	<b>18</b>
<b>カスタムカラーの定義</b> .....	<b>18</b>
カスタムカラーの詳細設定 .....	18

カスタムカラーの適用 .....	19
<b>特殊文字 .....</b>	<b>20</b>
エンコーディング .....	20
収縮文字 Escaped Characters .....	20
その他の特殊文字 .....	20
ASCII コード .....	21
<b>索引 .....</b>	<b>22</b>
索引用テキストの作成 .....	22
索引タグ情報の指定 .....	22

## 法律上の注記

© 2008 Quark, Inc. All rights reserved. 本書の内容および構成は、著作権により保護されています。Quark 社の承諾なしに使用および複製することは、著作権法違反の対象となります。Quark、Quark ロゴ、QuarkXPress、XTensions は Quark, Inc. と Quark 関連会社の米国および/またはその他の国における商標または登録商標です。Mac は Apple Inc. の商標です。Unicode は Unicode, Inc. の商標です。Windows、OpenType は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。その他すべての商標はそれを保持する各社に帰属します。

# XPress Tags の理解

QuarkXPress®レイアウトへテキストを取り込む／書き出す際、XPress Tags Filter XTensions®ソフトウェアを使用することによって、プレーンなテキストファイル中に段落属性や文字属性を含めることができます。プレーンなテキストファイルは本来属性をサポートしませんが、XPress Tags フィルタが属性をコード変換してテキストに追加して、フォーマットを指定することができます。最新版の QuarkXPress には文字／段落フォーマットに関する新たなオプションが加わったため、XPress Tags にもそれらの属性をサポートする新コードが追加されました。

## タグ付きテキストの取り込み

XPress タグコードが埋め込まれたテキストファイルは、以下の方法で取り込むことができます。

1. ファイルメニューから「取り込み」を選びます。
2. 取り込む対象となる XPress タグファイルを選びます。
3. アプリケーションが XPress タグファイルのコード化法を検出しようとしています。別のコード化を特定したい場合は、エンコーディングメニューのドロップダウンオプションから選びます。

「テキスト取り込み」ダイアログボックスで XPress Tag の解釈チェックボックスをオンにして、XPress タグコードを文字属性や段落フォーマットへ変換することができます。タグ付きテキストを取り込む前に、この XPress Tag の解釈をチェックしないと、QuarkXPress は XPress タグコードを変換せずに、文字列として取り込みます。

## 他のソフトウェアを使ったタグ付きテキストの作成

他のアプリケーション上で作成したテキストファイル中に XPress タグ情報を含めるには、テキストに必要なコードを付けます。テキストの先頭はバージョンコードとエンコーディング表示で始まります（たとえば、<v8.00><e9>）。エンコーディングコードの詳細は、「エンコーディング」の項を参照してください。

作成したテキストを、適正にエンコーディングされたプレーンテキストファイル形式で保存します。

## XPress タグに関する一般情報

XPress タグコードを入力する際は、以下の点をご注意ください。

- XPress タグコードは、アルファベットの大きい文字・小さい文字を識別します。
- 文字属性、段落属性に関する XPress タグコードは、必ず前後を山形カッコ (< >) で囲んで下さい。たとえば、ボールド体の XPress タグコードは<B>となります。
- 文字属性に関する複数のコードを表記するには、開き山形カッコに続けて指定したい複数のコードを入力し、閉じ山形カッコを入力します。たとえば、ボールド・イタリック体のコードは<BI>のようになります。

- 文字属性用の XPress タグコードは、属性を適用したい文字の直前で指定する必要があります。XPress タグコードを利用して適用した文字属性は、それをキャンセルするか、またはスタイルシートを変更するコードを入力しない限り、保持されます。属性を適用したい末尾の文字に続けて、属性を再指定することにより、先に適用した属性をキャンセルすることができます。（あるいは、文字スタイルの場合は、プレーンテキスト用のコード<P>を入力しても同じ結果が得られます。）
- 段落属性用の XPress タグコードは、属性を適用したい段落の先頭に配置する必要があります。XPress タグコードによって指定されたフォーマットは、後続する段落の先頭に別の値を指定するか、またはスタイルシートを変更するコードを入力しない限り、保持されます。
- 二つ以上の値（たとえば段落属性のような）を指定するための XPress タグコードとして、実際の値の代わりに\$記号を入力することができます。\$コードを見つけると、QuarkXPress は現在適用されているスタイルシートで指定された値に書き換えます。（もし現在適用されているスタイルシートがない場合は、〔標準〕スタイルシートの値で書き換えます。）たとえば、ある段落について、現在適用されているスタイルシートに設定されたすべてのフォーマットを利用するが、行送りだけはスタイルシート中で指定された行送り値ではなく 18 ポイントにしたいという場合のコードは、<\*p(\$,\$,\$,18,\$,\$,\$)>のようになります。
- 段落に対して〔標準〕スタイルシート（当該 QuarkXPress プロジェクト上で定義された属性を持つスタイルシート）を適用するには、その段落の先頭に@\$:コードを入力します。
- ある段落に対して特定のスタイルシートを適用するという指定をするには、その段落の先頭に@stylesheetname:コードを入力します。
- ある段落に対して〔スタイル解除〕を適用するという指定をするには、その段落の先頭に@:コードを入力します。
- XPress タグコードを使って、スタイルシートの文字属性、段落属性を規定することができます。XPress タグコードを利用してスタイルシートを規定するには、段落の先頭に以下のコードを入力します。  

```
@stylesheetname=<paragraph attribute and character attribute codes>;
たとえば、@Body Text=[Sp"", "Normal", "Normal"]
<*L*AL*h"Standard"*s"None"*kn0*kt0*ra0*rb0*d0*p(0,0,0,0,0,0,g(P,S))Ps100p100t
0Y1h100z12k0b0cKf"Helvetica"n0o("Calt", "liga", "loc1")LOG0>
```
- プロジェクトに対してあるスタイルシートを設定する際は、既存のスタイルシートに代えて、そのスタイルシートをベースにするというオプションがあります。そのコードは以下です。  

```
@stylesheetname=[S"existingstylesheetname"]<definition of style sheet>
```
- XPress タグを使ってある段落へスタイルシートを適用すると、後続する段落へもそのスタイルシートが適用されます。後続段落への適用を止めるには、@:コードを使って、異なるスタイルシートを適用するか、または〔スタイル解除〕を適用します。
- あるスタイルシートが適用された段落中の文字列に対し、（ローカルな変更として）属性を適用することができます。その属性は、適用をキャンセルするか、または異なるスタイルシートを適用しない限り、後続する文字列にも適用されます。
- 取り込んだタグ付きテキスト中に、プロジェクトに存在しないスタイルシート名が含まれていた場合、QuarkXPress が自動的にそれらスタイルシート名をスタイルシートパレットへ追加します。もしタグ付きテキスト中で、この新規スタイルシートが規定されていないと、QuarkXPress は、〔標準〕スタイルシートに含まれる段落／文字スタイルシート属性を適用した新規スタイルシートを、スタイルシートパレットへ追加します。
- H&J を参照するようなタグ付きテキストを取り込む際は、該当する H&J の設定が QuarkXPress プロジェクト中にあらかじめ存在している必要があります。もし XPress タグで H&J が指定されているにもかかわらず、QuarkXPress がプロジェクトの H&J リスト中に該当する設定を見つけられないと、〔標準 H&J 設定が代用されること〕になります。
- スタイルシート名および H&J 名は、半角 63 文字以内で作成してください。

- 以下の文字はスタイルシート名に使用できません。` : = @
- XPress タグコードとして使用する名前の前後は、必ずインチ記号 (") で囲みます。たとえば、Palatino フォントを指定する場合は、<f"Palatino">コードを使用します。
- XPress タグコードを使用してあるフォントを指定する場合、フォント名の一部のみコードに含めることもできます（たとえば、Helvetica フォントを指定するために `helv` と入力できます）。取り込んだテキストに対して、入力された XPress タグコードにしたがってあるフォントを適用する際、QuarkXPress は〔フォント〕サブメニュー中で、最初にフォント名の一部に合致したフォントを適用します。
- ルビ文字や縦中横、圏点などいくつかの機能は、特定言語版の QuarkXPress でのみ利用できます。しかし、どの言語版 QuarkXPress でもそれら機能が含まれるプロジェクトを開くことができますし、また、これらの機能が XPress タグ形式で含まれたテキストを取り込む／書き出すことができます。

# 文字設定と段落設定

XPress タグコードを使って文字スタイルを指定する場合、`<P>`は常に標準体を表します。別の文字スタイル（たとえばボールドを表す`<B>`）を指定すると、最初に指定された場合はボールドという属性が適用されます。すでにボールドが適用されたテキストへ指定した場合は逆に、属性が取り除かれます。たとえば、最初に`<B>`を指定すると、それに続くテキストに対してボールドが適用されます。次に再度`<B>`を指定すると、それに続くテキストに対してボールドは適用されません。`<$>`と入力すると、現在適用されているスタイルシート中で指定された文字スタイルを表します。スタイルシートがなにも適用されていない場合は、〔標準〕スタイルシートの値が使用されます。

## 文字属性

- 標準：`<P>`
- ボールド：`<B>`
- イタリック：`<I>`
- アウトライン：`<O>`
- シャドウ：`<S>`
- アンダーライン：`<U>`
- ワードアンダーライン：`<W>`
- 取り消し線：`</>`
- 二重取り消し線：`<R>`
- オールキャップス：`<K>`
- スモールキャップス：`<H>`
- 上付き：`<+>`
- 下付き：`<->`（ハイフン）
- 肩文字：`<V>`
- フォント変更\*：`<f"font name">`
- フォントサイズ変更\*：`<z###.##>`（単位=ポイント）
- カラー変更\*：`<c"color name">`または`<cC, cM, cY, cK, and cW>`
- シェード変更\*：`<s###.##>`（単位=%）
- 水平方向の縮小率\*：`<h###.##>`（単位=%）
- カーニング\*：`<k###.##>`（単位=1/200 em スペース）
- トラッキング\*：`<t###.##>`（単位=1/200 em スペース）
- 字送り十：タグコードはトラッキングに同じ。ただし、最後にポイントで値を入力のこと。
- ベースラインシフト\*：`<b###.##>`（単位=ポイント）
- 垂直方向の縮小率\*：`<y###.##>`（単位=%）
- 合字：オンの指定は`<G1>`、オフの指定は`<G0>`

- 不透過度\* : <p###.#> (単位=%)
- OpenType : <o("xxxx")> ("xxxx"は OpenType®の機能コード)
- 言語 : <n##> ("言語"の項参照)
- 文字揃え十 : <\*An> (nは揃えの方法) ; <AT> = Em ボックスの上/右、<AO> = ICF の上/右、<AC> = センター、<AM> = ICF の下/左、<AB> = Em ボックスの下/左、<AL> = ベースライン十
- 縦組み中の文字回転 : <Ln> (<L0> = 横向き、<L1> = 直立)、<L\$> = スタイルシートに戻る
- 圏点十 : <Mn> (nは圏点)
- CJK 以外の文字へ字送りを適用十 : オンの指定は<Y1>、オフの指定は<Y0>、現在のスタイルシートを使用する場合は<Y\$>

\* コマンドのあとに\$が続く場合(たとえば<f\$>)、これら属性には現在の文字スタイルシートで規定されている値が使用されます。文字スタイルシートが何も適用されていない場合は、〔標準〕スタイルシートが使用されます。(このリスト中で、#記号は数値を表します。)

十 この記号の付いた機能は、特定の言語版 QuarkXPress でのみ利用できます。ただし、これらの機能を含む XPress タグ付きテキストは、どの言語版の QuarkXPress でも取り込む/書き出すことができます。

## 言語

<n##>タグを使って、以下の言語を指定することができます。

- なし : <n254>
- ブルガリア語 : <n72>
- カタロニア語 : <n73>
- 中国語 (簡体字) : <n52>
- 中国語 (繁体字) : <n53>
- クロアチア語 : <n68>
- チェコ語 : <n56>
- デンマーク語 : <n9>
- オランダ語 : <n5>
- 英語 (インターナショナル) : <n2>
- 英語 (アメリカ) : <n0>
- エストニア語 : <n44>
- フィンランド語 : <n17>
- フランス語 : <n1>
- ドイツ語 : <n3>
- ドイツ語 (新正書法) : <n70>
- ドイツ語 (スイス、新正書法) : <n69>
- ドイツ語 (スイス) : <n19>
- ギリシャ語 : <n20>
- ハンガリー語 : <n43>
- アイスランド語 : <n21>
- イタリア語 : <n4>
- 日本語 : <n14>
- 韓国語 : <n51>
- ラトビア語 : <n45>
- リトアニア語 : <n41>
- ノルウェー語 (ブークモール) : <n12>
- ノルウェー語 (ニーノシュク) : <n80>
- ポーランド語 : <n42>

- ポルトガル語（ブラジル）：<n71>
- ポルトガル語（ヨーロッパ）：<n10>
- ルーマニア語：<n39>
- ロシア語：<n39>
- スロバキア語：<n57>
- スロベニア語：<n66>
- スペイン語：<n8>
- スウェーデン語：<n7>
- トルコ語：<n24>
- ウクライナ語：<n62>

### ルビ文字

本文テキストにその読み情報を付け加えるときに、ルビ文字を利用します。ルビ文字を制御する各種機能は特定の言語版 QuarkXPress でのみ使用できますが、XPress タグフォーマット中にこの機能が含まれたテキストは、どの言語版 QuarkXPress でも取り込む／書き出すことができます。

ルビ文字タグが使用するフォームは以下のようなものです。

```
<A(\#68Base text\#36<@><Character attributes><\#9Rubi  
text\#132,50,C,A,0,2,B,T)>
```

このタグに含まれる設定内容は以下です。

- <A()>で、タグを包括
- /#68 と /#36 で、本文テキストの先頭と末尾を指定
- <@><Character attributes>で、ルビテキストの文字スタイルを指定（“文字属性”の項参照）
- \#n で、ルビテキストの先頭を指定。n = ルビテキストの文字数（この例では、n = 9）
- \#132 で、ルビテキストの末尾とルビ配置コードの先頭を指定
- 50 で、ベーステキストフォントサイズに対するパーセンテージを指定
- C は、ルビテキストの揃え指定。L = 左／上揃え、C = センタリング、R = 右／下揃え、J = ジャスティファイ、F = 強制割付、O = 1-2-1 (JIS)ルール、E = 均等配置。
- A は、ベーステキストの揃え指定。A = なし、L = 左／上揃え、C = センタリング、R = 右／下揃え、J = ジャスティファイ、F = 強制割付、O = 1-2-1 (JIS)ルール、E = 均等配置
- 0 は、ルビテキストのベーステキストからの距離（単位＝ポイント）
- 2 は、張り出し指定。0 = なし、1 = ルビ文字 1 個まで、2 = ルビ文字 1/2 個まで、3 = ベース文字 1 個まで、4 = ベース文字 1/2 個まで、5 = 制限なし
- B ベーステキストに対するルビの配置。A = 上／右、B = 下／左
- T は、端線上の自動揃え。T = オン、F = オフ

### 縦組み中の文字回転

グループ化した文字列を、縦組みテキスト中で 90°回転させることができます。縦組み中の文字回転機能は特定の言語版 QuarkXPress でのみ使用できますが、XPress タグフォーマット中にこの機能が含まれたテキストは、どの言語版 QuarkXPress でも取り込む／書き出すことができます。

グループ文字タグが使用するフォームは以下のようなものです。

```
<A(\#72ABC\#40<t-10h80>>
```

このタグに含まれる設定内容は以下です。

- <A()>で、タグを包括。
- /#72 と /#40 で、グループ文字の先頭と末尾を指定
- <t-10h80>で、トラッキングと水平方向の縮小率を指定（“文字属性”の項参照）

## フォントセット

字種ごとに固有のフォントを指定してグループ化したものをフォントセットとして扱うことで、テキスト行に一括適用することができます。

スタイルシートの指定同様、フォントセットの指定も XPress Tags ファイルに含むことができます。たとえば、“フォントセット 1”という名前のフォントセットが適用されたテキストを書き出した場合、“フォントセット 1”の設定内容がタグの形式に書き出されます。このとき、XPress Tags ファイルの先頭は以下のようになります。

```
@Fontset1=[F]<"HiraMinPro-W3",100,0,h100,"GrecoStd-DB",100,0,h100,"Corbel",100,0,h100,"HiraMinPro-W3",89.999,-5,h105,"Times-Roman",100,0,h100>
```

フォントセットタグは、テキスト中では以下のようになります。

```
<h105z10.89b-0.6f"HiraMinPro-W3",("Fontset 1",12)>
```

このタグに含まれる設定内容は以下です。

- h105 = 横比率／縦比率（“文字属性”の項参照）。
- z10.8 = 現在のフォントサイズの比率（単位＝％）
- b-0.6 = ベースラインシフト（単位＝ポイント）
- f"HiraMinPro-W3" = フォント
- ("Fontset 1", 12) = 適用するフォントセット名と現在のフォントサイズ（単位＝ポイント）

※フォントセット機能は特定の言語版 QuarkXPress でのみ使用できますが、XPress タグフォーマット中にこの機能が含まれたテキストは、どの言語版 QuarkXPress でも取り込む／書き出すことができます。

## OPENTYPE の属性

OpenType へのスタイルの適用は、文字スタイルに行うのと同じ方法で指定します。現在の設定内容を切り替えるには、新たなタグを再指定します。

以下の項目中、アスタリスク (\*) はグリフ属性を表します。グリフ属性の適用フォーマットは <DoO,F"zero",I0,f"ACaslonPro-Bold">0<oC>です。このとき、DoO = タグの開始、F"zero" = 機能、I0 = グリフ指定 (I0 = 先頭グリフ)、f"AcaslonPro-Bold" = フォント、0 = ベース文字、oC = タグの終了、です。

## 基本セット

- 全てのスモールキャップス : a2sc
- 代替字体 \* : nalt
- 代替分数 \* : afrc
- 前後関係に依存する字形 : calt
- 任意の合字 : dlig
- 分母 : dnom
- 分数 : frac
- ハングル \* : hngl
- 旧字体 \* : hist
- 横書き用仮名の使用 † : hkna
- イタリアック \* : ital
- 標準の合字 : liga
- 分子 : numr
- 序数 : ordn
- 装飾字形 \* : ornm

- プロポーショナルライニング：plin
- プロポーショナルオールドスタイル：pold
- ルビ専用仮名†：ruby
- スタイル上の代替形式\*：salt
- スモールキャップス：smcp
- 下付き：subs
- 上付き：sup
- スワッシュ：swsh
- タイトル用字形：titl
- ライニング数字：tlin
- オールドスタイル数字：told
- スラッシュ・ゼロ\*：zero
- 縦組み用仮名の使用†：vkna

\*はグリフ属性

†は、East Asian 機能をサポートする言語版 QuarkXPress でのみ利用可能

### 代替フォーム

- エキスパート字形\*：expt
- 補助漢字\*：hojo
- JIS2004 字体†：jp04
- JIS78 字体：jp78
- JIS83 字体†：jp83
- JIS90 字体†：jp90
- NLC 漢字\*：nick
- 簡体字体†：smp1
- 繁体字体†：trad
- 繁体字人名字体\*：tnam

\*はグリフ属性

†は、East Asian 機能をサポートする言語版 QuarkXPress でのみ利用可能

### 代替メトリクス

- 全角幅†：fwid
- 半角幅†：hwid
- 3分の1幅†：twid
- 4分の1幅†：qwid
- プロポーショナル幅†：pwid
- 代替垂直メトリクス†：valt
- プロポーショナル代替幅†：palt
- プロポーショナル代替垂直メトリクス†：vpal
- 代替半角幅†：halt
- 代替垂直半角メトリクス†：vhal

\*はグリフ属性

†は、East Asian 機能をサポートする言語版 QuarkXPress でのみ利用可能



- ドロップキャップス\*\* : `<*d(character count,line count)>`
  - 次段落との分割不可\*\* : `<*kn1>`または`<*kn0>1 = オン、0 = オフ`
  - ウィドウ／オーファンの制限\*\* : `<*ktA>`または`<*kt(#,#)>` A = 全行送る、#, # = 先頭,末尾 (標準) スタイルシートの設定内容へ戻すには、`<*kt($)>`と入力します。
  - ぶら下がり設定 : `<*s"hanging character set name">`  
該当する文字セット名のついたぶら下がり文字セットがレイアウト中に含まれていなければ、ぶら下がりは適用されません。しかし、もし後でこの名前前のぶら下がり文字セットを作成した場合は、その設定がテキストへ適用されます。
- \*もしフォーマットコードを\$に置き換えると (たとえば`<*t$>`)、現在適用されている段落スタイルシートの値が使用されます。もしスタイルシートが何も適用されていないと、(標準) スタイルシートの値が使用されます。このコマンドで使用される単位はポイントです。
- \*\*どのフォーマットコードも\$に置き換えることにより、現在適用されているスタイルシート中の定義に置き換わります (たとえば`<*ra$>`)。あるいは、0に置き換えることにより、罫線なしを指定できます (たとえば`<*ra0>`)。
- †この機能は特定の言語版 QuarkXPress でのみ使用できますが、XPress タグフォーマット中にこの機能が含まれたテキストは、どの言語版 QuarkXPress でも取り込む／書き出すことができます。

### その他の属性

属性にはほかに以下のようなものがあります。

- グリフ : `<Do0,F"zero",I0,f"AcaslonPro-Bold">0<oC>`  
Do0 = タグの開始、F"zero" = 機能、I0 = 代替グリフを指定、f"AcaslonPro-Bold" = フォント、0 = 基本字体、oC = タグの終了
- ハイパーリンク : `<A(3,"HYPB",\#002\#000\#000\#000) [2]>Linked text<A(3,"HYP","",\#nnn\#xxx) [n]>`  
このとき、`<A(3,"HYPB",\#002\#000\#000\#000) [2]>`は常にタグの開始を、`\#nnn`はリンクの種類 (`\#000` = URL、`\#004` = アンカー、`\#008` = ページ) を、`\#xxx` はプロジェクト中のこのハイパーリンクの作成順を示します (`\#001` = 最初に作成、`\#002` = 2 番目に作成、以下同様)。
- トランスコーディング配列 : `<EX>Unicode value, language, legacy code value<EX>`  
言語コードは“言語”の項参照。
- 非エンコードグリフ : `<DO, gxxxx, f"Font"P> <DC>`  
DO = タグの開始、g = グリフ、f = フォント、P = スタイル (P, B, I, または BI)、DC = タグの終了

### スタイルのオン/オフ

- 機能 “a” をオン : `<o("aaaa")>`
- 機能 “x”, “y”, “z” をオン : `<o("xxx", "yyy", "zzz")>`
- 機能 “a” と “b” をオン、次に機能 “c” をオンにし、“b” をオフ : `<o("aaaa","bbbb")>some<o("cccc","bbbb")> text`
- 機能 “a” と “y” をオン : `<o("xxx", "aaa", "xxx", "yyy")>`

### 設定をスタイルシートへ戻す

- 機能 “x” と “y” を、現在適用中段落スタイルシートの文字属性へ戻す : `<o($ "xxx", "yyy")>`
- 機能 “x” と “a” を、現在適用中文字スタイルシートの文字属性へ戻す : `<o($$ "xxx", "aaa")>`

- すべての OpenType 機能を、現在適用中段落スタイルシートの文字属性へ戻す：<o(\$)>
- すべての OpenType 機能を、現在適用中文字スタイルシートの文字属性へ戻す：<o(\$\$)>

# スタイルシート

XPress タグを使って文字スタイルシートを適用し、段落スタイルシートと文字スタイルシートを関連付けることができます。

## スタイルシートの定義

スタイルシートには、段落属性のみ含めることも、文字属性のみ含めることも、段落と文字の両属性を含めることもできます。

- デフォルト文字属性を使用した段落スタイルシートの定義：

```
@stylesheetname=[Sp"", "" ] <paragraph and character attributes> (Hard Return)
たとえば、
@Paragraph1=[Sp"", "" ]<*L*h"Standard"*kn0*kt0*ra0*rb0*d0*p(0,0,0,0,0,0,g(B,S))
PBs100t0h100z14k0b0c"Red"f"Times-Roman">
```

- 文字スタイルシートの定義：@stylesheetname=<character attributes>(Hard Return)
 たとえば、@Char1=<Ps100t-3h100z10k0b0cK f"Palatino-Roman">

- 文字スタイルシートを指定した段落スタイルシートの定義：

```
@stylesheetname=[Sp"", "", "character stylesheetname"]<paragraph attributes>(Hard Return)
たとえば、
@Paragraph1=[Sp"", "Paragraph1", "Char1"]<*L*h"Standard"*kn0*kt0*ra0*rb0*d0*p(0,0,0,0,0,0,g(B,S))>
```

- 一つの段落スタイルシートを他の〔ベース〕に指定して、〔次のスタイル〕を適用：

```
@stylesheetname=[Sp"based on paragraph stylesheetname", "nextparagraph-stylesheetname", "character stylesheetname"]<paragraph attributes>(Hard Return)
たとえば、@Paragraph2=[Sp"Paragraph1", "Paragraph3", "Char1"]<*t(121,1, "1."227,1,"1 ")>
```

- 一つの段落スタイルシートを他の〔ベース〕に指定：

```
@stylesheetname=[St"", "", "", "based on character stylesheetname"] <character attributes>(Hard Return)
たとえば、@Char2=[St"", "", "", "Char1"] <Pbf"ArialMT">
```

## スタイルシートの適用

スタイルシートの適用には、@記号を使用します。文字スタイルシートを適用する際は、@に続けて“x”を入力して、文字スタイルシートのデフォルト属性に対してあらゆる文字属性を指定できます。これで、上書きされた既存の文字属性はすべて取り消されます。たとえば<x@< \$>は、既存の文字属性をすべて取り消し、〔標準〕文字属性を適用します。

### 段落スタイルシートの適用

- (標準) 段落スタイルシートの適用：`@$:paragraph text`
- (スタイル解除) 段落スタイルシートの適用：`@:paragraph text`
- 任意の段落スタイルシートの適用：`@stylesheetname:paragraph text`

### 文字スタイルシートの適用

- (標準) 文字スタイルシートの適用：`<@$>`
- 該当段落の文字スタイルシートの適用：`<@$p>`
- (スタイル解除) 文字スタイルシートの適用：`<@>`
- 任意の文字スタイルシートの適用：`<@stylesheetname>`

### スタイルシートに関する追加 XPress タグ

文字スタイルシートと段落スタイルシートとの関係の可能性によって、追加の XPress タグの必要性が生じます。

- 適用されている段落スタイルシートの文字属性に準じて文字スタイルを指定：`<$>`
  - 現在適用されている文字スタイルシートの文字属性に準じて文字スタイルを指定：`<$$>`
  - 適用されている段落スタイルシートの文字属性に準じてすべての文字属性を指定：`<a$>`
- ⇒ このコマンドは文字スタイルシートを適用するものではありません。
- 現在適用されている文字スタイルシートの文字属性に準じてすべての文字属性を指定：`<a$$>`

# カラー

プロセス以外のカラーは、正確に定義しておかないと取り込み時に正しく変換されません。それらのカラーは、スタイルシートの定義同様、XPress タグファイルの先頭で定義します。

## カスタムカラーの定義

```
@colorname=[C]<"colorclass",colorspec>
```

このタグに含まれる内容は以下です。

`colorname` = カラーの名前

`[C]` = カスタムカラーを示す記号

```
colorspec = "libraryname",S または P,#,"colorsubclass"
#.#,#.#,#.#,#.#,#.#,#.#
```

`S` または `P` = "S" はスポットカラーを表し、"P" はプロセスカラーを表す。もしこれがスポットカラー ("S") で、後に続く数字にハーフトーン値が使われていたら、# = {1=シアン、2=マゼンタ、3=イエロー、4=ブラック}

たとえば、@CMYK-M50Y100spotY=[C]<"CMYK",S,3,0,0.5,1,0>

`libraryname` = スウォッチブックまたはライブラリ上のカラー名

`colorsubclass` = `colorclass` に同じ。値は、"CMYK","LAB","Hexachrome","RGB" を含む。これはライブラリが見つからない場合に使用されるバックアップ用の設定です。

#.#,#.#,#.#,#.#,#.#,#.# = 数字によるカラー設定

## カスタムカラーの詳細設定

`colorclass` = {"CMYK", "RGB", "HSB", "LAB", "DIC", "MULTI-INK", "FOCALTONE", "PANTONE@..." (Pantone のオプションは "PANTONE@ solid coated" を含め 14 種類), "TOYO", "TRUMATCH", "Web Safe Colors", "Web Named Colors"}

もし `colorclass` = "RGB" "HSB" "LAB" "Web Safe Colors" "Web Named Colors" ならば、`colorspec` = S または P,#,#.#,#.#,#.#

例：@Red=[C]<"RGB",P,1,0,0>

もし `colorclass` = "CMYK" ならば、`colorspec` = S または P,#,#.#,#.#,#.#

例：@CMYK-M50Y100spotY=[C]<"CMYK",S,3,0,0.5,1,0>

もし `colorclass` = "DIC", "FOCALTONE", "PANTONER...", "TOYO", "TRUMATCH" ならば、

```
colorspec = "libraryname", S または P,#,"colorsubclass",#.#,#.#,#.#,#.#,#.#
```

例 1：@DIC 399p spotB=[C]<"DIC","DIC399p",S,4,"CMYK",0.55,0.14,0.47,0>

例 2：@PANTONE 259 HexC=[C]<"PANTONE@ solid in hexachrome@ coated","PANTONE 259 HC",S,4,"Hexachrome",0.4,1,0,0.25,0,0>

もし `colorclass = "MULTI-INK"` ならば、`colorspec = "colorname", "colorclass", I` または `C, #.##, #`

このとき：

`I` または `C` = カラーは、インクまたはカスタムカラーである

`I` = インク

`C` = カスタムカラー

`#.##` = マルチインクのパーセンテージ

`#` = インクのインデックス。インク成分に対してのみ、この値が記載される。

例：`@Mink-M70Lab20=[C]<"MULTI-INK", "Process Magenta", "CMYK", I, 0.7, 1"LAB-L50A45B-75spotB", "LAB", C, 0.2>`

### カスタムカラーの適用

カラーの定義が完了したら、通常のカラータグで適用することができます。たとえば、`<c"Red">` または `<c"Mink-M70Lab20">` のように記載します。

# 特殊文字

XPress タグは、文字エンコーディングを指定して、任意ハイフンや分割禁止スペースといった特殊文字を挿入したり扱うことを可能にします。

## エンコーディング

〔テキスト保存〕 コマンド（ファイルメニュー）で作成した XPress タグファイルの先頭に、下記の三種類の拡張文字セットインジケータの一つが自動的に配置されます。

- Unicode (UTF-16): `<e8>`
- Unicode (UTF-8): `<e9>`
- Mac Roman (x-mac-roman): `<e0>`
- Windows Latin (windows-1252): `<e1>`
- Western (iso-8859-1): `<e2>`
- Japanese Win (windows-932-2000): `<e3>`
- Japanese Mac (x-mac-japanese): `<e21>`
- Korean Windows (MS codePage 949): `<e19>`
- Korean Mac (KSC5601): `<e20>`
- Traditional Chinese (BIG5): `<e6>`
- Simplified Chinese (GB2312): `<e7>`

## 収縮文字 Escaped Characters

XPress タグが特定のコードの一部と誤認するようなある種の文字を扱う場合は、以下の特殊文字を使用します。

- @: `<\@>`
- <: `<\<>`
- \: `<\\>`

## その他の特殊文字

特殊文字のいくつかは、独自の XPress タグコードを持っています。それらの文字を定義するには、以下のコードを利用します。

- 新行（ソフトリターン） : `<\n>`
- 任意の改行 : `<\d>`
- ハイフン \* : `<\->`
- インデント位置 : `<\i>`
- 右インデントタブ : `<\t>`
- 標準スペース \* : `<\s>`
- En スペース \* : `<\e>`

- 句読点スペース \* : `<\p>`
- フレックススペース \* : `<\f>`
- Em ダッシュ \* : `<\_>`
- En ダッシュ \* : `<\a>`
- 任意ハイフン : `<\h>`
- 前ボックスページ番号 : `<\2>`
- アクティブボックスページ番号 : `<\3>`
- 次ボックスページ番号 : `<\4>`
- 新コラム : `<\c>`
- 新ボックス : `<\b>`
- Em スペース \* : `<\m>`
- 1/3 Em スペース \* : `<\#>`
- 1/4 Em スペース \* : `<\$>`
- 1/6 Em スペース \* : `<\^>`
- 数字スペース \* : `<\8>`
- 極細スペース \* : `<\{>`
- 細いスペース \* : `<\[>`
- ゼロ幅スペース \* : Word joiner\*: `<\j>`
- 全角スペース \* : Ideographic space\*: `<\o>`

\*上記グループではコマンドの前に!を入力すると、そのスペースまたはハイフンは分割禁止になります (例 : `<\!m>`)。

## ASCII コード

ワードプロセッシングソフトによっては、特殊文字用の XPress タグを作る際、デシマル ASCII コードの使用が必要になります。この XPress タグコードは、`<\#decimal value>` となり、#記号はコードの一部です。ASCII コードのためには、XPress タグコードは 3 桁である必要があります。4 桁目の ASCII コードを入力すると、行送りゼロは入力しないでください。以下に、一般的な文字に使用する ASCII デシマルコードのいくつかをリストします。

- 文字用デシマル ASCII コード \* : `<\#decimal value>`
- 改行 (ハードリターン) : `<\#13>`
- タブ : `<\#9>`
- En ダッシュ : `<\#208>`
- Em ダッシュ : `<\#209>`
- 開きダブルクォーテーションマーク : `<\#210>`
- 閉じダブルクォーテーションマーク : `<\#211>`
- 開きシングルクォーテーションマーク : `<\#212>`
- 閉じシングルクォーテーションマーク (アポストロフィ) : `<\#213>`

\*コマンドの前に!を入力すると、その文字は分割禁止になります。

# 索引

QuarkXPress の索引タグフォーマットは、取り込み／書き出しができます。ライターや索引作成者がワードプロソフト上で作成したタグ付きテキストを、QuarkXPress へ取り込んでレイアウトすることもあれば、逆に QuarkXPress から索引タグ付きのテキストを書き出して編集するというケースもあるでしょう。

## 索引用テキストの作成

索引用の XPress タグは、索引に使用するテキストのテキスト挿入ポイントまたはテキスト範囲に対して索引マーカを挿入して指定します。

- テキスト挿入ポイントへ索引マーカを挿入：`<XI,Tag Info>`
- テキスト範囲の先頭を指定：`<XO>`
- テキスト範囲の末尾を指定：`<XC,Tag Info>`

## 索引タグ情報の指定

索引タグには、エントリーレベル、スタイル、範囲などの情報を含みます。

- 第1レベルエントリー：`"First Level entry", "", Sort As, Style Info, Scope, Extra Info, "Cross-Reference String"`  
例：`<XO>20th Century<XC, "20thCentury", "", "Twentieth Century", "Index Text 1", 6, 1, "Modern Age">`
- 第2レベルエントリー：`"First Level entry", "Second Level entry", "", Sort As, StyleInfo, Scope, Extra Info, "Cross-Reference String"`  
例：`<XO>Humanities<XC, "20thCentury", "Humanities", "", "", "Index Text 2", 6, 1, "Arts">`
- 第3レベルエントリー：`"First Level entry", "Second Level entry", "Third Level entry", "", Sort As, Style Info, Scope, Extra Info, "Cross-Reference String"`  
例：`<XO>Literature<XC, "20th Century", "Humanities", "Literature", "", "", "Index Text 3", 6, 1, "Books">`
- 第4レベルエントリー：`"First Level entry", "Second Level entry", "Third Level entry", "Fourth Level entry", Sort As, Style Info, Scope, Extra Info, "Cross-Reference String"`  
例：`<XO>English<XC, "20th Century", "Humanities", "Literature", "English", "", "Index Text 4", 6, 1, "Great Britain">`
- スタイル：`"stylesheetname"`または`"`（エントリーのスタイル）
- 範囲：`0, 1, 2, 3, 4, 5, 6`（選択範囲の先頭 = 0, テキスト選択範囲 = 1, 指定スタイルまで = 2, 段落数を指定 = 3, 指定の末尾まで = 4, ページ番号なし = 5, クロス参照 = code）
- 分類法：`"sort as text"`
- 選択範囲の先頭：`0`

- テキスト選択範囲：1
- 指定スタイルまで：stylesheetname
- 段落数を指定：Number of paragraphs
- 停止ページ番号：Suppress Page #: 0
- 指定の末尾まで：0, 1 (ストーリー = 0、ドキュメント = 1)
- ページ番号なし：0
- クロス参照：0, 1, 2 (参照 = 0, 関連項目 = 1, ここを参照 = 2)

